

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
福岡国土建設 専門学校	昭和51年4月1日	上床 隆彦	〒812-0887 福岡市博多区三筑2丁目7番8号 (電話) 092-501-3261			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 嶋田学園	昭和37年5月21日	嶋田 吉勝	〒820-0003 飯塚市大字立岩1224番地 (電話) 0948-22-6571			
目 的	測量法の規程に基づき、測量に関する基礎理論及び実習を指導し、測量技術の基礎を習得させ、あわせて測量技術者としての実践力を養うと共に品格の高い人間性を育成する。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	都市環境設計科 施工技術者コー ス	2年(昼)	2,440単位時間 (又は単位)	平成23年文部科学 大臣告示第167号	無
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		1,790単位 時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	650単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		24人	7人	5人	12人	
学期制度	■1学期：4月1日～8月31日 ■2学期：9月1日～12月31日 ■3学期：1月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について ・各学期終了時点で試験実施 A (100～80点) B (79～60点) C (59～40点) ・学習態度及び出席状況の 総合評価	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月8日 ■夏 季：8月1日～8月21日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月25日～3月31日			卒業・ 進級条件	平均評価点が60点以上である事(各科目 の評価点は担当教授が期末試験の成績、 日常の学習成績により総合的に決定) 欠席時間が単年度120時間以内である事	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 規程時間(120時間)を超えた場合は 退学とする			課外活動	■課外活動の種類 無 ■サークル活動 (有・無)	
主な就職先	■主な就職先、業界 測量・土木・造園業界 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合 100% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成27年10月時点の情報)			主な資格・ 検定	測量士補・測量士 土木・施工管理技士	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名    ■中退率 0%</p> <p>平成27年4月1日在学者 23名（平成 27年4月入学者を含む）</p> <p>平成28年3月31日在学者 23名（平成 28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組 欠席時間について一定基準を設け個別指導・家庭訪問・保護者への状況報告等をおこなう</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL : <a href="http://www.kokusen@mocha.ocn.ne.jp">www.kokusen@mocha.ocn.ne.jp</a></p>

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

- ・測量に関する養成施設として国土交通大臣登録校で都市環境設計科は登録を受けている。その為授業科目・授業時間については国土地理院より定められており業務規定を定めると共に毎年4月末に前年度教育実施報告書、及び当該年度教育実施計画書を提出し国土地理院より了承を得ている。そのことを踏まえ
    - ・実習・演習などの実務に関する授業について企業へ講師派遣を依頼。
    - ・講師へ地理院からの指導要綱について周知すると共に確認。
    - ・地理院からの指導要綱に基づき、企業が求める技術者となり得るための講義・実習を行なう。
- 上記と共に大学に勤務している本校非常勤講師や卒業生で関連企業代表者・同窓会などを通じ業界の動向や知識・技術・技能についてアドバイスを受け教育課程の編成に反映させる。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年12月28日現在

名 前	所 属
上床 隆彦	福岡国土建設専門学校
川畑 英樹	福岡国土建設専門学校
吉住 和翁	福岡国土建設専門学校
小野 仁	福岡国土建設専門学校
山本 稜一	株式会社アジア建設コンサルタント 代表取締役会長
興梠 博文	九州測量設計株式会社 代表取締役
米倉 隆盛	福岡市設計測量業協会 副会長

### (開催日時)

第1回 平成28年 5月17日 14:00～16:00

第2回 平成28年12月22日 15:30～17:00

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

国土地理院より示された標準的授業内容に沿うと共に関連業界のニーズにあった内容とする。

- ・企業より強い要望のあるCADやに関する演習の強化
- ・GNSSやGISなどの最新技術機器の実習の強化
- ・土木関連業界ニーズに沿った設計の自動化の強化

上記方針に対して企業から専門家の講師を派遣してもらい実践的かつ専門的職業教育を行なう。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
応用測量	路線測量、用地測量、河川測量	有限会社 国土調査事務所
CAD演習	CADの基本概念及び基本操作の習得	メディア工房アタラクシア
土質工学	土の構成と状態、土の工学的な分類、土の締固めの性質等	住環境デザイン研究所

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

業務に必要な知識及び技能を計画的に教育し、知識、技能、企画力、判断力を持つ教職員を育成する事を目的とする。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年12月28日現在

名 前	所 属
木本 達	九州コンサルタント 株式会社 代表取締役会長
大塚 憲一	株式会社 大高開発 代表取締役
外園 令明	外園税理士事務所 所長
山本 旗年	同窓会 会長
城野 裕美	飯塚高等学校 校長
川崎 信三	福岡市測量設計業協会 前副会長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [www.kokusen.mocha.ocn.ne.jp](http://www.kokusen.mocha.ocn.ne.jp)

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [www.kokusen.mocha.ocn.ne.jp](http://www.kokusen.mocha.ocn.ne.jp)

授業科目等の概要

(工業専門課程 都市環境設計科 施工技術者コース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			測量法規	測量法、関連法規	2 ①	32		○		
○			数学	平面及び球面三角法、微分・積分、解析幾何、統計、行列、数値計算法、最小二乗法	1通 2 ② ③	124		○		
○			情報処理	コンピュータシステム、プログラミングの基礎、測量と地図（地理）の情報処理	1通 2 ②	72		○		△
○			測量学概論	測量の歴史、地球の形状、気象、測量の計画・管理、最新の測量技術、重力、地磁気	1通	48		○		
○			三角測量	一般理論、測量器械、選点、造標、埋標、観測、平均計算、成果表・記録の調整	1通	108		○		△
○			多角測量	一般理論、測量器械、選点、造標、埋標、観測、平均計算、成果表・記録の調整	1通	108		○		△
○			汎地球測位システム測量	一般理論、測量器械、選点、埋標、観測、平均計算、成果表・記録の調整	2通	42		○		△
○			水準測量	一般理論、測量器械、観測、計算、水準網の調整、成果表・記録の調整	2通	72		○		△
○			地形測量	一般理論、測量機器、平板測量、細部測量、数値地形測量	1通	125		○		△
小計					9科目		731 単位時間( 単位)			

授業科目等の概要

工業専門課程 都市環境設計科 施工技術者コース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			写真測量	一般理論、測量機器、標定点測量、撮影、空中三角測量、図化、数値図化、リモートセンシング	1通	125		○		△
○			地図編集	一般理論、編集機器、図式の解説、地図投影法、地図編集法、地図製図技法	2 ① ②	93		○		△
○			応用測量	路線測量、用地測量、河川測量	2通	125		○		△
○			不動産登記法	概論、地積測量図・土地所在図の作製、土地・建物の表示に関する登記	2 ② ③	32		○		
○			測量計算演算	測量に関する計算、面積・面積調整計算、体積計算、座標計算、交点計算	2 ② ③	32		○		
○			地理情報システム	GISの歴史、概念モデル、データモデリング、データ作成・処理・解析等演習、各主題図の調査目的・内容・方法	2通	108		○	△	
○			CAD演習	CADの基本概念及び基本操作の習得	2 ①	32			○	
○			測器演習	測量器械の構造と基礎知識、器械操作の習得	1 ①	32			○	
○			土木工学概論	施工計画、工程管理、安全管理、品質管理、原価管理、建設機械	1 ①	32		○		
小計				9科目		591 単位時間(			単位)	

授業科目等の概要

(工業専門課程 都市環境設計科 施工技術者コース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			応用力学	力の合成と分解、モーメント、力のつりあい、静定ばり、部材断面の性質等	1通	60		○		
○			水理学	液体の物理的性質、流体の運動、管路の流れ、開水路の流れ等	1通	60		○		
○			土質工学	土の構成と状態、土の工学的な分類、土の締固めの性質等	1通 2①②	106		○	△	
○			道路工学	交通量の特性、交通容量、道路構造の設計基準、路面の横断構成、舗装等	1② 2①②	74		○	△	
○			河川工学	河川、気象、水文、水理、統計、観測、洪水処理、利水、河川工事	1②	32		○		
○			橋梁工学	橋梁の目的、意義、構造、分類、設計基準と設計荷重、主要材料と設計法等	1②③	108		○		
○			コンクリート工学	セメントと混和材料、骨材と水、コンクリートの諸性質、配合、施工と養生等	1① 2①②	82		○	△	
○			海工学	海岸・港湾・海洋工学、波の性質、潮汐、海浜変形と海岸浸食等	1②	32		○		
○			都市環境計画	地球環境、都市と環境負荷、都市環境計画各論等	1②	32		○		
小計					9科目		510単位時間(単位)			

授業科目等の概要

工業専門課程 都市環境設計科 施工技術者コース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			土木 施工管理	土木一般、コンクリート工事、基礎工事、 構造物等	1通 2①②	100		○	△	
○			土木法規	土木施工関連法規	1 ②	32		○		
○			衛生工学	水道基本計画、水源及び取水施設、下水道基本計画、 管きよの計画・設計・施工等	1 ①	32		○		
○			用地補償	用地補償の概要、土地等の取得と補償、 補償業務管理士の制度	1 ①②	64		○		
○			図学	図の描き方、平面図形、投影、切断、投影、 投資投影法等	2 ①	32		○		
○			土木 工学実験	土の物理、締固め、骨材の比重、吸水率 等の実験	2 ②	32				○
○			設計製図	製図基準、床板橋、橋脚、擁壁等の設計	2 ②	86		○	△	
○			施工 技術者教養	力学系、水系、交通系、地盤系、計画系 等の択一問題	2 ②	158		○		
小計					8科目		536 単位時間( 単位)			



授業科目等の概要

工業専門課程 都市環境設計科 施工技術者コース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			倫理学	技術者の心得等	1 2 通 通	40		○		
○			体育	体育訓練における身体の向上	1 2 ① ① ② ②	32			○	
小計				2 科目	72 単位時間( 単位)					
合計				43 科目	2440 単位時間( 単位)					